

2025
No. 114

令和7年8月10日発行

議会だより こさか



DOWAの森植樹祭の様子 6月25日



ヒメマス放流体験 6月16日（十和田湖和井内）

- | | |
|--------------------|------|
| 1. 5月臨時会・6月定例会の概要 | 2～3 |
| 2. 一般質問 | 4～10 |
| こんなことを聞きました（7議員） | |
| 3. 町民と語る会の概要 | 13 |
| 4. 亀田利美氏 叙勲受章・編集後記 | 14 |



小坂町かぶきん

一般会計補正予算(第1号)を可決

・道路橋りょう維持管理
(案内看板改修・町道舗装改修工事ほか)

・東北自動車道跨道橋撤去事業概略設計

・小坂小学校屋外階段等補修工事

1,326万円

735万円

383万円

5月臨時議会

令和7年第3回小坂町議会臨時会が、5月15日に開催されました。

議会では、専決処分の承認のほか、令和7年度補正予算、小坂町財産区管理会委員の選任などを審議しました。



臨時会では、専決処分（予算・条例の一部改正）の承認9件や補正予算1件、人事案件6件をそれぞれ原案のとおり可決。そのほか報告2件ありました。（下面に議案一覧）

一般会計補正予算については令和7年度当初予算が町長選挙を控え、骨格予算を基本として編成していたことから、選挙後に第6次

小坂町総合計画前期基本計画に基づいた、令和7年度の施策に関する追加予算について審議しました。追加する補正予算6033万8千円を可決し追加後の令和7年度予算総額は45億7933万8千円となりました。

主な予算は、マイナンバーカード券面印刷機更新76万円、資源循環啓発事業61万円、道路橋りょう維持管理（案内看板改修・町道舗装改修工事ほか）1326万円、東北自動車道跨道橋撤去事業概略設計735万円、松木沢川護岸改修工事415万円、堤沢川浚渫工事161万円。赤煉瓦にぎわい館エアコン増設工事207万円、キハ塗装補修工事他434万円、国際交流広場観光案内板撤去工事130万円、小坂小学校屋外階段等補修工事383万円です。また人事案件では、「小坂町小坂財産区管理会の委員選任」で6人の方が選任されました。

報告		その他							補正予算	専決処分										区分	審議された議案一覧（※議長は採決に加わりません。）																																																																																																																																																																			
																				第3回（5月）臨時会 議 案 名																																																																																																																																																																				
和解及び損害賠償の専決処分について		小坂町小坂財産区管理会の委員選任につき同意を求めることについて（六人目）（無記名投票）							令和7年度小坂町一般会計補正予算（第1号）	令和6年度小坂町歯科診療所特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて										令和6年度小坂町一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて		9	賛成																																																																																																																																																																	
和解及び損害賠償の専決処分について		小坂町小坂財産区管理会の委員選任につき同意を求めることについて（五人目）（無記名投票）							令和6年度小坂町中小企業従業員退職金等共済事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町水道事業会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町介護保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	令和6年度小坂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	

6月
定例議会

令和7年第4回小坂町議会定例会は、6月18日から25日までの8日間の会期で開催されました。

議会では、令和7年度補正予算のほか、条例の一部改正、旧十和田分館解体工事の請負契約の締結及び小坂町教育委員会の委員の選任などを審議しました。

一般会計補正予算(第2・3号)を可決

- ・小坂七滝ワイナリー集出荷体制整備事業補助金 379万円
- ・学校給食食材料費高騰対策事業補助金 389万円
- ・保育所等物価高騰対策事業補助金 41万円
- ・タクシー事業者エネルギー価格高騰対策事業補助金 17万円

6月定例会では、条例の一部を改正する議案4件、補正予算4件契約の締結1件、人事案件1件を原案のとおり可決しました。

また、陳情2件を採択し意見書案2件を可決したほか、報告3件、決定が1件ありました。

(下面に議案一覧)

一般会計補正予算(第2号・3号)については、3051万6千円を追加する予算を可決し、追加後の令和7年度予算総額は46億985万4千円となりました。補正財源は国から交付される「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」や「未来創生基金繰入金」を該当する事業の特定財源として調整したほか、不足する財源は一般財源の繰越金で収支を調整しました。

今回の主な補正予算は、小坂町グリーンツーリズム推進事業冷庫を現在の鴉地区からワイナ

リーへ移設する事業について実施主体である小坂まちづくり(株)に経費の半分を補助する「小坂七滝ワイナリー集出荷体制整備事業補助金」をはじめ、物価高騰対策として、「学校給食食材料費高騰対策事業補助金」等により、子育て世帯の負担軽減を図るほか、エネルギー価格の高騰の影響を受けているタクシー事業者に支援する補助金が計上されました。(補正予算額等は上記に掲載)

そのほかには、補助金メニューの見直しを行い新たな形で小坂七夕祭への山車参加を支援する補助金260万円、「図書管理システム更新」に伴う経費159万円や施設補修工事として「図書館屋根補修工事」117万円、「消防団第四分団万谷班消防器具置場整備事業」562万円などです。

陳情		報告		決定	その他				補正予算				条例改正				区分
地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての陳情		産業教育常任委員会付託		議員派遣の件について	旧十和田分館解体工事の請負契約の締結について 小坂町教育委員会の委員選任につき同意を求めることについて (無記名投票)				令和7年度小坂町一般会計補正予算(第3号)				職員の有児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について				第4回(6月) 定例会 議案名・陳情
9	9	—	—	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	賛成
0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対
採択	採択	報告	報告	決定	可決	可決	同意	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果

6月定例議会 一般質問

町政を問う

7人の議員が21項目について質問

議長



1 3番 菅原 明雅 議員

1. 選挙戦の公約実現の決意と覚悟について
2. 「経常収支比率」について



2 2番 工藤 文明 議員

1. 旧小坂高校跡地利用の現状について
2. 小坂町の桜の美しさに関連して
3. 令和7年度秋田県総合防災訓練について
4. 災害情報の伝達手段について



3 7番 木村 則彦 議員

1. 町長が公約に掲げた高齢者福祉施設の移転支援について
2. 若者世代の定住対策について
3. ツキノワグマ被害対策について



4 4番 鹿兒島 巖 議員

1. まちづくり政策に関わって
2. カドミウム汚染米について



5 5番 椿谷 勇次 議員

1. 地域D Xの推進状況について
2. 道の駅十和田湖の運営状況について
3. 「サンホーム大石平」の移転に関する進捗状況と財源について
4. 小坂町における生活の基本3要素「医・食・住について」



6 6番 本田 佳子 議員

1. 学校体育館への空調整備について
2. 骨髄バンクの現状とドナー支援について



7 8番 秋元 英俊 議員

1. カドミウム基準値超過米について
2. 小坂町の福祉の現状について
3. 運動公園の整備について
4. 移動投票車について

選挙公約実現の決意と覚悟を

町長 ふくし会や企業と連携し、進めたい



菅原 明雅 議員



選挙公約のサンホーム大石平

問 選挙戦において、現職町長の公約は重かったと思う。当選翌日の新聞にも、

「(1)福祉施設の移転支援と(2)高齢者住宅の建設は4年間に成し遂げる。(3)町中心部の土地の再開発や(4)脱炭素社会実現に向けた企業との連携は、計画を作りながら次の町長に引き継げるよう進めたい」と公約実現の意欲が示された。改めて公約実現の決意と覚悟をお示し願いたい。

答 (1)特別養護老人ホーム「サンホーム大石平」の移転支援については、町中心部への移転が必要であると判断し選挙公約とした。

移転については、小坂ふくし会と協議し、施設規模・支援方法等を決定していきたい。来年度中には実施計画を完成させ、令和9年度には工事を開始し、令和10年度には供用開始していただきたいと考えている。

(2)以前からの課題である「高

齢者世帯向け公的賃貸住宅」の建設については、一人暮らしや高齢者のみの世帯増の状況から必要であると考え、併せて町中心部に建設することを選挙公約とした。

今後、検討していきたい。

(3)町中心部の土地の再開発は小坂町総合計画の後期基本計画に掲げ事業を進めたい。

(4)脱炭素社会実現に向けての企業との連携は、精一杯頑張つて次の町長へ引き継げるよう進めたい。

要望 選挙公約は、町民との約束である。4年という月日は長いようで決して長くはないと思う。

厳しい言い方になるが、国からの予算をいただきながら「道の駅十和田湖」の1年延期という失態もあった。計画的に落ち度なく事業を展開していただきたい。

全庁一丸となつて、町長の公約を実現し、細越町政5期20年の立派な総仕上げにしていただきたい。

議会としても、進捗状況をチェックしながら、公約実現のために協力してゆきたいと考えている。

経常収支比率と健全な財政運営を

町長 健全な財政基盤の強化を図ります

問 本年1月の全員協議会資料として配布された、「令和7年度予算(案)内示」の「町の財政状況」において「令和5年度決算では、経常収支比率が101.9%と県内ワーストとなっている。3カ年平均が95%を超えた場合は、総務省から事情聴取や予算執行状況の確認を求められるため、全庁一丸となり、経常的経費の縮減に努める必要がある。」と示された。

(1)「経常収支比率」とは？
(2)①令和3年度から5年度決算の3カ年平均は？
②令和4年度、5年度、6年度及び令和5年度、6年度、7年度決算の3カ年平均が95%を超えることはないのか？
(3)全庁一丸となつての具体策とは？
(4)「健全な財政」を次の町長に引き継ぐことも、現職の仕事の一つと考えるが、町長のお考えは？

答 (1)経常収支比率とは、収入される一般財源に、支出される経常的経費がどの程度充てられているかを示す指数。

(2)①令和3年度から5年度の3カ年平均は91.8%。
②令和6年度決算は、9月定例議会で報告する。

(3)・公共施設の管理経費の縮減に努める。・町民の満足度に重点を置きながら、予算規模を縮小してゆく。・地方債残高の縮小に努める。・ふるさと納税推進に取り組み等。

(4)次世代に負担を先送りしないよう、健全な財政基盤の強化を図ります。

意見 令和7年度においては職員給与の引き上げや物価高騰による各種調達費や公共施設の光熱水費など、経常的経費増が予想される。

国からの指導が入ることはないものと思うが、議会は行政のチェック機関であり、老婆心ながら質問させていただきました。

旧小坂高校の跡地利用の現状は

町長 今後、進展がありましたら、議会に対しても説明・報告申しあげます



工藤 文明 議員

一般質問 町政を問う

問 旧小坂高校の跡地利用につきましては、議会でこれまでも質問や提案が度々おこなわれてきましたが、現状を伺います。

答 今年5月下旬、県の担当者と事務レベルで情報共有をしたなかで、建物の除却期限と解体設計のスケジュール等が示され、町としては、県がすべての建物の解体除却を完了し更地となつてから、土地の利活用を検討していくこととしました。

町の方針としては、町が直接利活用するのではなく、民

間事業者の活動に使つていただけるのが望ましいと考え、引き続き県と情報交換をしながら、民間活用 of 立地意向調査や誘致活動等を進めてまいりたいと考えます。

意見 旧小坂高校の跡地の利用の仕方は、町の今後の成長のために欠かせない一手となるはずで、魅力あふれる大きな財産となり得ます。

今後、跡地の利活用に向けて、タイムスケジュールが見えてくることでしょう。場合によっては、多額の予算支出を必要とするかもしれません。利活用について引き続き注視してまいりますので、現状を打開されるよう切に期待しております。



旧小坂高校の入口

町の桜の美しさに関連して

問 今年の町の桜の美しさは近年で一番良かったという声を町民の方々から多数伺いました。その樹木管理の状況と満開時の桜のライトアップ、日本最大級とされるソメイヨシノのPRについて伺います。

答 中央公園の樹木管理については、植栽管理者へ業務委託しており、一年を通じて剪定、追肥などを適宜おこなう管理しています。

また、皆さんに夜桜を楽しんでいただくため、これまで仮設の裸電球を設置していましたが、公園内の街灯がLEDに換装され、以前に比べて明るくなったことから、今年から点灯を取りやめました。

野球場前のソメイヨシノは日本最大級の幹周りを誇る巨木であるとの情報提供を受け注目度が高くなっていることから、今後情報を前面に出し紹介したいと考えております。

意見 陸上競技場と野球場周りのソメイヨシノの大部分は樹齢九十年を超えています。ソメイヨシノの寿命は一般的に60年から80年と言われてお

りますから、いい環境で上手に維持されてきた樹木管理は賞賛に値します。

しかし、今後は倒木や枝落ちによつて、公園の利用者などに人身被害が及ばないよう維持管理に努めていただきたいと思います。

令和7年度秋田県総合 防災訓練の確認

意見 今年度、町にとつて大きな行事でありながら町民の注目度があり上がつていないと感じております。そのため予定されている防災訓練の詳細についてお答えいただきました。

秋田県総合防災訓練は、参加者が訓練している姿を、視察者に見てもらおうというイベント的な要素もあります。

防災訓練一番の目的は参加者が、災害の発生に備え、冷静かつ的確に行動できる対応力を身につけるところにあります。今回の訓練に参加される住民の方々にとって、もの足りなさが残ると、その目的はかなわないのかもしれませんが、その点については、ご配慮していただければと思

います。

災害情報の 連絡手段の現状は

意見 災害発生時のサイレンと半鐘の鳴らし方は、小坂町地域防災計画の資料編にも記載されておりますが、町では現在そのとおりに運用されておりません。

半鐘は、すべて取り外されて連絡手段となり得ません。サイレンは、どんな災害や種別であっても、1回15秒の吹鳴のみです。

周知を徹底していただくようお願いいたします。



消防署小坂分署のサイレン

若者世代の定住対策として宅地分譲の考えは

町長 現時点では検討していない



木村 則彦 議員

一般質問 町政を問う

問 若者世代としては、新築の住宅を建設して我が家としていとの夢をもつ人が多いと思います。

答 当町には近隣の自治体から働きに来てくれる人も多いことから、定住対策として全国に情報発信できるように、格安な宅地分譲を検討していく考えはないか。

答 町中心部の空洞化を防ぐために、中古住宅や既存の宅地を活用していくための取組

みを進めるため、新たな宅地開発は慎重に判断したいと思っており、現時点では検討していません。

問 秋田県の新知事は「子育て世帯のAターン・移住」を緊急的かつ強力的に進めるとのことですが、県と連携して移住・定住政策を進めていく上で町長の考えは。

答 今までも他の自治体先駆けて各種事業を講じてきたっており、現段階では新しい施策はないが、今後も色々と考えていきたい。

問 近隣の市町村から小坂に勤めに来てくれる人で、小坂に立地のよい場所があれば住宅を新築したいという人や若者の現状や考えについて、町内企業に依頼してアンケート調査してみる考えはないか。

答 有効な提案であると思うので、若者の考えを知る機会として検討していきたい。

公約に掲げた高齢者福祉施設移転への支援は

町長 法人が事業運営していけるよう支援したい

問 ①野口の福祉施設移転支援を進めるに至った経緯は。

②担当課にはどのような指示をし、どのような支援を考えているのか。

③民間が運営する福祉施設整備を支援するための制度や、取り決め等があるのか。

答 ①施設の老朽化や現所在地が土砂災害警戒区域であることから、小坂ふくし会から立て替えの支援要望があったため移転支援することにした。

②施設規模や形態、支援方法等について検討するように担当課に指示をした。

③法人の財政状況を考慮しながら、その時点での首長の判断で、法人が事業運営している範囲で支援していきたい。

意見 町長の公約で重要な施策なので、質問に答える形ではなく、町長自らが現状を議会に報告すべきだと思う。

福祉施設の移転支援と高齢者住宅の建設となれば、財政的にも大きな負担になると思うので、町長の任期にこだわらず、慎重に計画・整備を進めていただきたい。

今年も多発している熊の目撃情報

問 今年度のツキノワグマ被害対策は。

答 猟友会への支援の他、猟免許取得・猟銃の購入・電柵設置・誘因樹木伐採への補助を実施している。また、今年からワナの見回りなどを行う



ツキノワグマ捕獲のためのワナ

鳥獣サポーター隊を組織した。

問 鳥獣保護法の改正により今後は市町村長の判断で市街地に出没したクマの猟銃による駆除がハンターに委託して可能になるが、その体制やハンターの報酬についての考え方は。

答 体制については、環境省からのガイドラインが示されてから検討していきたい。報酬面についても近隣市町村の状況を踏まえて検討したい。

問 鳥獣サポーター隊の身分は任意団体の所属ということで大丈夫か。

答 サポーター隊員の任務は危険を伴わないものであるし、保険もかけている。



町中心部の再開発は…



マリア園で元気に育つ子どもたち

一般質問 町政を問う



鹿兒島 巖 議員

「サンホーム大石平」町部移転計画など、町中心部のまちづくり(コンパクトシティ)の中身が見える計画の開示を

町長 「小坂町立地適正化計画」の具体化の中で示していきたい

問 町長は小坂ふくし会が計画しているサンホーム大石平の移転整備支援を公表したがその概要は。

また、少子高齢化・人口減少に歯止めがからないなかで、生活・居住環境がおおきく変わりつつあり、その状況を見

高齢者人口も減少する中で、小坂ふくし会と町社協の連携・役割分担等、町が定期的な協議・調整の場を

町長 両者と協議の場を設けます

問 「誰もが住み続けられるまちづくり」で、社会福祉事業を担っている小坂ふくし会と町社協の果たす役割がおおきく関わっている。特に高齢者にかかわる諸施策の中心を担う両者の役割と連携・分担等、町民ニーズに対応するためには新たな視点で両者の関係や町との関係など総合的な見直しと協議が必要と考えるがどうか。

要支援・要介護認定者の減少やニーズの変化により今後、全てのサービス事業で利用者の変動が見込まれることから

マリア園への抜本的な支援策を

町長 絶対に無くしてはならない施設として支援してまいります

答 高麗者人口が減少しており、両事業所で重複する通所介護事業では利用者の減少・

問 マリア園は未来を担う子育てに欠かせない施設。その施設が経営の危機にある現状について、町はどう理解し、どう対応する考えか。

答 指摘の通り絶対に必要な

据えたまちづくり(いわゆるコンパクトシティ)への取り組みが不可欠と考えている。

町中心部での整備計画、住宅をはじめ、周辺部のまちづくりをどう考えているか。

答 サンホーム大石平の移転概要等はまだ知らされておらず、具体的な施設規模、支援内容については今後の協議と

見直しが必要と考えます。

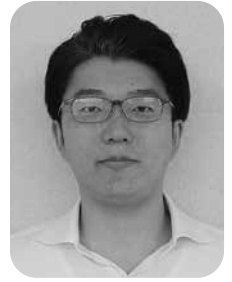
この状況を踏えて、サービスの主体である小坂ふくし会、社会福祉協議会と今後の役割分担や連携のあり方について協議の場を設けてまいります。

なりますが、進展あるごとに報告します。

コンパクトシティへはこれまで以上に推進し、町中心部は公共施設の集約化・複合化の適正配置で利便性の向上・住居エリアと医療・商業施設等の距離が縮まる徒歩圏地域の空き地や中古住宅の活用を促進して、外からの人を呼び込みたいと考えています。

米のカドミウム汚染は公害であり、その対策は個々の農家に負わせるのではなく、国の責任で行うよう具申を。

町長 国・県への具申とともに、町として分析費用の一部支援などについて検討したい。



椿谷 勇次 議員

一般質問 町政を問う

地域DXの 推進状況は

問 2025年5月に秋田県がGoogle Workspaceを活用した行政効率化協定を締結した。これを受け、小坂町における地域DXの取組状況及び進捗、検討状況はどうか。

答 町では、5年間の計画期間とする「小坂町DX推進計画」に掲げた3つの基本方針に基づく取り組みを行っております。町では、今後とも国の「デジタル社会の実現に向けた重点計画」及び県の「秋田県DX推進計画」との整合を図りつつ、町民の利便性の

向上と行政サービスの品質向上を目指し、様々な分野においてデジタル技術の活用を進めてまいりたいと考えます。
意見 Google Workspaceは、メールやチャットなど様々な機能があるが、特に、テレビ会議のGoogle meetの導入は行政において効果が大きいと考える。秋田県庁とのテレビ会議が円滑に開催可能になることから、テレビ会議の環境整備だけでも検討頂きたい。

道の駅十和田湖の 運営状況は

問 道の駅十和田湖の来客数および売上高の実績を、今年度予算と比較して報告いただきたい。

答 施設には来館カウンターがないため、他の道の駅で用いる係数計算による観光入込み数で公表しております。令和6年10月～令和7年3月末の来館者数は約5万9千人、令和7年4月～5月は約4万6千人、ゴールデンウィーク中は18732人でした。売上実績は、令和6年10月～令和7年3月末が3115万円、

4月・5月が1916万円。目標数値の設定はしておりません。

意見 5月の臨時議会で、道の駅十和田の食器を「プラスチックではなく、新たに陶器の食器を購入したい」ということで130万円ほどの追加予算があった。この食器購入の投資が妥当であるか、経営数値を見て、判断すべきであり、何も数字がないと妥当な投資か判断できない。観光客だけではなく、小坂町民も十和田に行きたくなるような道の駅になる投資を優先的に行っていくべき。

サンホーム移転の 財源確保は

問 サンホーム移転にあたり現時点で町が拠出可能な財源及び起債見込額はどの程度か。
答 起債発行可能額については、小坂ふくし会が特別養護老人ホームの設置者になりますので、建設するための財源は、法人が民間団体や金融機関から借り入れることとなります。

町としては地方債を借り入

れすることは想定しております。

意見 この件については、民間単独財源では難しいように思います。民間が行うには難しいことをするのが行政。しかし、町の財源も厳しい。では、どうするのか。官民が連携して町づくりをするしかないと思います。

町の生活基盤 「医・食・住」は

意見 住宅問題は、長期的な計画と、大きな財源が必要になる。一方、すぐ近くでは、DOWAグループの女性用住宅と役員向け住宅の建設が進んでいる。この状況にあっても、現時点で「単身の小坂町在住者への住宅提供はない」と聞いております。そのようなことから小坂町の高齢者単身世代への住宅不足が加速しているかと推察する。こうした状況も踏まえて、住宅問題については、DOWAグループを中心に町と事業者との意見交換を継続的に進め、連携していくべきと考える。ご検討頂きたい。

問 最後に、あまり話題に挙がらない町の飲食事情について。隣町への買い物が前提の町づくりになっていないか。
町内で循環できるような飲食店への支援や施策を増やすべき。現時点での具体的な対策をお伺いしたい。

答 飲食料品の小売業事業所数は平成24年の25件から令和3年には14件に減少している。人口減少や高齢化、物価高騰などが背景にある。町は「個人商店魅力アップ支援事業」や「創業チャレンジ支援事業」で経営継続と創業支援を展開し、昨年度は3件の創業実績がある。今後にもぎわい維持・創出に向け、店舗支援を進めていく。

意見 小坂町の全世代の医食住の充実を、サンホームの施策の中でも視野に入れながら小坂町のコンパクトシティを構想していくことを期待する。住民にとっても、期待のできる町の大型プロジェクトになるのでは。



学校体育館に空調設備を

町長 設置する考えはない



本田 佳子 議員

一般質問 町政を問う

問 小坂小・中学校の体育館には空調設備があるのか。また現状はどうなっているか。

答 小坂小学校体育館には、暖房設備は設置していますが空調設備（エアコン）は設置していません。中学校体育館は交流センター・セパームのアリーナを中学校の体育館として使用しているため、空調設備は設置していません。

問 学校体育館の空調設備に関して文部科学省で、早期実施に向けた支援をしているが

町として、どう考えているか。また交付金対象が、避難所指定校とされており、小坂小・中学校も検討されているかどうか。
答 避難所となる全国の学校体育館への空調設備は、令和6年度補正予算で政府が新たに創設したもので、これまでの交付金と比較して、補助率の引き上げや補助単価の倍増補助要件となる断熱性確保にかかる運用の柔軟化など、整備を加速する内容となっています。中学校の体育館は交流センターのアリーナを利用している状況であり、中学校体育館としての学校単独施設ではないことから、交付金の活用はできません。小学校体育館は交付金の活用は可能ですが、事業実施の場合、エアコン設置費のほか、断熱性確保工事が必要となり、全体で数千万円の費用が必要となります。また、災害時の指定避難所である学校施設については必要に応じて、暑熱対策とし

て、空調設備がある普通教室や特別教室等を利用することも可能です。学校内の教室はほとんどがエアコンを設置していますので、災害時の学校再開に影響が出ないよう配慮しながら、避難所としての活用が可能と考えています。したがって、現段階では、小坂小・中学校の体育館には国の補助金を活用して、空調設備を設置する考えはありません。

要望 国の「公立施設体育館等空調整備臨時特例交付金」は令和6年9月1日現在の体育館への空調率18・9%を、令和15年に95%へ達成することを目的に、令和6年度から10年間の期間限定措置として創設されたもの。体育館への空調には新しい空調システムで、ランニングコストも下がるようなものもあり、それが適しているか精査していただきたい。子供たちの教育環境の整備はもちろん、緊急時避難所として使用される体育館の環境整備は、町民の命を守る大変重要なものであります。国からの支援を受けながら、早急に進めていただけるよう

ぜひもう一度、検討していただきたい。

骨髓バンクドナーの支援拡充を

町長 独自の補助は継続

問 国内の骨髓移植を必要としている患者1869人に対して行われた移植は、1021人であり、約2人に1人しか移植を受けられていない状況だ。ドナーになるには、骨髓を採取する検査やドナーの健康診断などする必要があり採取にかかる期間をサポートする制度があるが、町で予算化したことはあるか。

答 ドナー登録手続き時の交通費を助成する「骨髓バンクドナー登録交通費補助」を平成6年度から実施しています。平成15年に2人の方に助成して以降、申請がない状況です。

問 今後、町として支援する考えはあるか。

答 ドナー登録にかかる交通費の補助は継続していきます。

問 東北地方では秋田県だけが、このドナー助成制度予算の補助がされていない。県内では大仙市が骨髓移植ドナー

助成事業を先駆けて実施している。自治体レベルでは難しいと思うが、一人でも多くの患者の命が救われるように前向きに検討をお願いしたい。
答 町では大仙市のようにはできませんが、小坂町議会からもこのような声が上がっていることを、県に報告し、県から後押ししていただけるよう求めてまいります。



カドミウム基準値超過米への対応

町長 町として、カドミウム分析費用の一部支援について検討してまいります



秋元 英俊 議員

一般質問 町政を問う

問 小坂町として、カドミウム対策をどのように指導してきたのか。

答 町が行っているカドミウム基準値超過米流通防止策はカドミウム含有米生産防止計画書を制作し、湛水管理支援対策事業により湛水状況の確認を行ってきた。ほか、カドミウム汚染米生産防止対策リーフレットを配布し、出穂期の湛水管理を必ず実施するように呼びかけ、安全な米を販売するようお願いしています。

問 自主販売を取っている生産者に対してカドミウム検査をし、出荷するべきであると

思いますが、小坂町はどのように指導してゆくのか。

答 秋田県では、基準値超過米発生対策として、出荷前のロット調査による分析を徹底するよう指導しています。

町はこの方針に従って安全な米を販売するようお願いしていくこととなります。また今年度出荷する米の全量がカドミウム分析の対象となることから、町として分析費用の一部支援について検討してまいります。

小坂町の福祉の現状は

問 令和5年10月現在、秋田県における65歳以上の高齢者に占める要支援・要介護認定者の割合は20.2%となっており、今年度は、団塊の世代の方が75歳以上となるなどから、今後とも要支援・要介護認定者が増加すると推定される中、小坂町の福祉としての高齢者施設の入居状況、ショートステイやデイサービスの現状はどのようなものか。

答 当町の65歳以上の方に占める介護認定者割合は令和7年3月末では17.1%となっており、増加傾向となっております。認定者数につきましては、横ばい傾向となっております。

介護サービスでは、施設介護サービス受給者で、令和元年2月には111人で令和7年2月には93人と18人減少となっております。また、短期入所生活介護（ショートステイ）では、令和元年度の月平均で44件、令和6年度の月平均で25件と19件減少となっております。

通所介護については、令和元年度で42件、令和6年度で45件と3件の増加となっております。各事業ともサービス量が減少傾向となっている中、介護者等の人員配置基準は満たしています。質の高いサービス提供や事故防止を図るため介護人材の確保は必要と考えています。

意見 町として、高齢者福祉障がい者福祉など様々な福祉業務について、民間団体や社会福祉協議会と密な連絡を取りながら、より良い福祉業務を構築していただきたい。

運動公園の整備

問 野球場スタンド前の桜の木は、推定樹齢が120年（諸説あり）とされているところから、町として文化財登録や防護柵設置等の桜と共に保護・整備するべきと考えるが。

答 中央公園の桜の巨木等はこれまで長年守られ町民に愛されてきた桜の木であり、この景色・風景を絶やさないよう、ぜひとも後世に残していきたいものであり、保存してゆくためにも防護柵設置も必要となってくるものと認識しています。文化財の指定有無に関係なく、これまで同様に管理を徹底してまいります。



中央公園の桜

移動投票車の実施

問 高齢者や移動手段が限られている方々から、巡回式移動期日前投票所等を開設できないだろうかとの意見を伺いました。他の自治体も実施していることから、小坂町

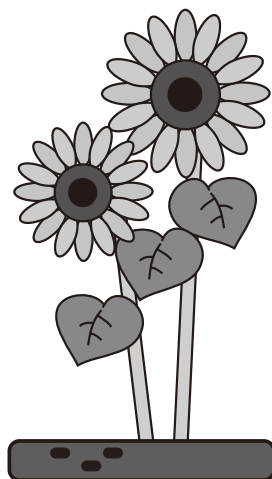
でも実施できないかを伺います。

答 人口減少や有権者数の減少や選挙事務従事職員の確保面で、投票所の運営が厳しくなってきたことなどの理由から、現在は10カ所の投票所を開設、以前は、歩いていける距離に投票所があったのに、遠くなってしまう方も少なからずいらっしゃると思います。当町の投票行動の傾向として、期日前投票を利用する方の割合が6割前後と、増加傾向にあり、投票所を減らしても投票率が大きく下がることはないものと考えています。

この状況を踏まえ、選挙管理委員会では、当日の投票所の利便性を向上させることより、より期日前投票所に来やすい環境づくりを進めるのがよいのではないかと考えています。今のところ、すぐに何らかの移動支援等を講ずることとは考えておりませんが、今回の参院選で実証する十和田湖地区の期日前投票所の結果を踏まえ、同地区以外でも移動投票所や移動支援等の導入について検討を始めています。

第36回町民と語る会の概要

令和7年6月27日(金) 小坂町交流センター・セパームにおいて、全町を対象に開催しました。
1年間の議員活動報告や令和7年度予算の概要説明をしたあと、参加者からの質問にお答えしました。
その概要についてお知らせします。



災害時の緊急連絡体制

問 2月定例会にて、工藤議員が「2月21日の大雪警報の発令に合わせた、町災害連絡室を設置の時期」に関する一般質問を行ったが、質問の回答に対し議員がどう思ったのか。

答 今シーズンは雪が多く降り、町民の皆さんは大変苦勞されたと思います。

各自治体の方へお伺いして今回の大雪時の対応について調べたところ、今回の町の対応が少し遅かったのではないかと思います。

町からの回答では、「指摘があった災害連絡室の設置時期及び周知については、反省材料といたします。今後の連絡体制については、地域防災計画で定める基準に基づいて行い、国や県、高速道路事業者自治会などの情報共有、

連携を図り対応する」とのことでした。その回答を受けて、今後、担当部署で、気象庁の観測所で降雪が70cm以上なった場合は、急いで対応をしていただきたいと要望して検討してもらうことになりました。

町長の公約の公表について

問 同じく2月定例会にて、木村議員が「町長の公約の評価は自らが報告すべき」に関する一般質問に対し、評価については、数値化して毎年明確な公表をすべきだと考えるが、それに対しての意見をお聞きたい。

答 任期中の評価については「公表は行ったことがない」との回答でした。

選挙時の公約は大変重いものと思いますので、本来であれば町長自らが、1年ごとに公約の進捗状況や、4年間の

総括は「どうだったか」を答えるべきではないかと思えます。また、ほかの市町村では年度ごとに、町政報告やホームページ等で評価について報告、公開しているところもあります。今後も、このことについては町長に質問等を行い確認していきたいと思っています。



自治会館への冷房設備(エアコン)の設置は

問 令和7年度予算に町施設への「冷房装置増設工事」が計上されているが、同じ町の施設である自治会館への冷房設備(エアコン)の設置の予算計上はお願いできないのか。

答 町と自治会との協定では、大規模な修繕等は町で、それ以外は自治会で対応することとなっている。(エアコン設置は自治会)その件について、「町で設置できないか」「設置できないのであれば、自治会に設置費用の補助金は出せないか」と質問しましたが、「先に設置した、ほかの自治会に対して不公平感が出るので出せない」との回答でした。この要望については、自治会総連絡協議会と協力しながら、設置を継続して要望していきます。

クーリングシエルの活用は

6月号の広報に「クーリングシエルの活用」の記事が掲載されていた。このことから各自治会館へ冷房設備の設置は、これに該当するものと考えられる。町民の安全を守る危機管理対策の一環としても設置は必要だと思う。



叙勲受章

旭日双光章

元議長 亀田利美氏

地方自治功労

小坂町議7期、25年間で、議長、副議長、産業教育常任委員長等を歴任して地方自治に貢献された亀田さんに、受章の喜びを伺いました。

議員を目指したきっかけは

産業振興やインフラ整備などで「とにかく町を良くしたい、という気持ちだった」

議長時代の思い出は

平成20年、天皇皇后両陛下（現上皇・上皇后）が小坂町を訪れた際に小坂鉦山事務所でお迎えし、美智子様との席で昼食をとったことは、議場よりも緊張した。

また、十和田湖と周辺地域の県境問題の解決も忘れられない出来事だった。

今後の議会や町に

期待することは

今まで、多くの同僚議員に支えられ感謝している。また町長を始め町職員も一生懸命頑張っていると思う。



受章祝賀会で、左から3人目が亀田さん

議会、町ともに大いに議論を重ねて、産業振興や人口減少問題に取り組むほか、町民の福祉の向上を図ってほしい。

今後の活動は

自動車関連の自営業や親から継いだ農業振興を通じて、町の産業振興に貢献していきたい。

農業や産業振興への発言には重みがあり、優しい笑顔の中にも、鋭いまなざしは今も健在。今後も町や議会への提言を期待しています。

【聞き手】

広報委員長 木村則彦

●●●議会を傍聴しませんか●●●



次の定例会は9月上旬開会予定です

- 傍聴の手続きは簡単です。議場の入り口で、住所と名前を書くだけです。
- 団体で来られる場合は、事前にご連絡ください。
- なお、傍聴する人は次の事項を守らなければなりませんので、ご留意願います。
- 一、会議場内の言論に対し可否を表明しないこと。
 - 二、いかなる理由があっても議員席に入らないこと。
 - 三、騒いで議事を妨害しないこと。
 - 四、帽子、襟巻または外とうの類を着用しないこと。
 - 五、傘及び棒類を携帯しないこと。
 - 六、その他議場の秩序を乱す行為をしないこと。

お問い合わせ先
小坂町議会事務局
電話 0186 - 29 - 3914
FAX 0186 - 29 - 5481

編集後記

時間が過ぎるのも早いもので今年も半年が経ちました。様々な出来事があり、時間の流れを早く感じております。令和の米騒動にて農業及び米に関して、世間が関心を持っていただけることを身に染みております。

「米」という漢字は「八十八」という文字を組み合わせて出来ており、お米が育つまで多くの手間と時間がかかることを意味していると、よく言われております。

「米」という漢字の米粒のような周りの点を取ると「十」という漢字が残ります。漢字辞典によると「十」という漢字には「多数」「十分等」の意味合いがあるようです。米は、十分な生産力があり完全な食品で、全部の国民を養えるというのが米の本来の姿なのではないでしょうか。生きづらい世の中になつていますが、その中でも見方や考え方のアップデートにより少しでも精神的に余裕が出てくればと思う今日の頃です。

熊谷 聡